おひさま

題字＆イラスト　小堀拓也

おひさま
通信
No. 337
2018年 2月号
社会福祉法人みぬま福祉会
川口太陽の家・アトリエ輪

川口太陽の家
〒333-0831 川口市木曽呂１３７４
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-294-0955　FAX 048-294-4458

川口太陽の家・工房「集」
〒333-0831 川口市木曽呂１４４５
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-290-7355　FAX 048-290-7356
http://kobo-syu.com

アトリエ輪
〒333-0831 川口市木曽呂８９－４
TEL 048-299-9156　FAX 048-299-9157

オレンヂホーム
〒333-0831 川口市木曽呂２４９－１
TEL 048-298-1796　FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
http://minuma-hukushikai.com

みぬま福祉会

成人を祝う会
戸田さん

普段はパーカー姿で活発な印象の戸田裕人さん。この日はびしっとスーツで身を固め大人の雰囲気を漂わせていました。

スライドで流れる写真からは幼少期からのびのび育った様子が伝わってきました。弟と喧嘩をしたり、全身絵の具まみれになったり、胡瓜を頬張ったりイタズラ好きだけれど何だか憎めない愛嬌たっぷりの戸田さんに成長した過程が伺えて微笑ましかったです。

いつも太陽の中をぴょんぴょん風のように動き回っている戸田さんですが、この日はしっかりとお母様と共に檀上に座り真剣に皆のお話を聞いていました。その場の雰囲気を感じ取り大人の振る舞いが出来ているなあと感じました。自分にマイクが回ってきた時も、しっかり声を出して発言している姿は本当に立派でした。

今回太陽からは戸田さんと石久保さん2名がご成人されました。お二人とも本当におめでとうございます。これからも自分らしく、太陽の皆と一緒に頑張っていきましょう（津畑）

成人を祝う会
石久保さん

今年の成人・古希を祝う会は大雪の影響で延期され、2月15日に障害者交流センターで行われました。川口太陽から成人を迎える仲間は二人。その一人がじゅうに班に在籍している石久保萌香さんです。

当日は不安や緊張もあった様ですが、朝から美容院でセットと着付けをして会場入りしました。太陽の仲間と合流すると、振袖姿の綺麗な萌香さんを見つけた仲間から歓声があがりました。ピンク色の地に花柄の振袖はお母様の着物だそうですが、萌香さんの雰囲気にぴったりで、その場の空気が急に華やいだものになりました。

式中はお世話になった方々からお祝いの言葉を頂き、しっかり対応していて成長し大人の仲間入りした事を実感させられました。

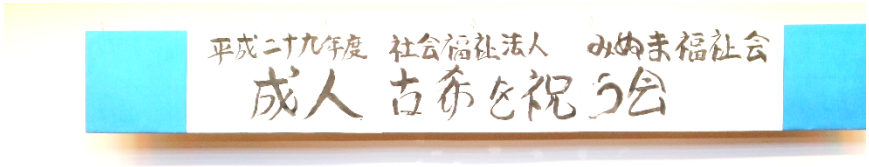
誕生からのスライドでは、ご家族ご親族から愛情に包まれて成長した姿を紹介。学校も大好きで沢山の友達が出来たとの事です。課外活動にも力を入れ、2つの団体でダンス、キャンプ、海外旅行、プール等盛り沢山。そして、医療関係の方々からの多くのサポートもありましたが、萌香さんの努力も大きく現在があるのだと思いました。

また、ご両親からのお話では、真摯に向き合うお二人の姿に感銘を受けました。これからも太陽の仲間の一員として仲間と共に活躍していって貰いたいと思います。

私たちも萌ちゃんから石久保さん、萌香さんと呼び方を変えていかなければでしょうか。

萌香さん、本当に成人おめでとうございます。同じ班で活動している仲間として嬉しく思います。

（小平）



陽だまりの中より・・・

～今月の各班の想い～

じゅうに

寒い日が続き、この冬はインフルエンザの流行が全国的に広がりを見せていますが、じゅうに班の仲間たちは大きく体調を崩すことなく元気に過ごしています。班では仲間のお給料から毎月 500 円を積み立てし、それぞれ好きな事に使うという取り組みをしています。今月は足立さんと金子さんの希望で、さいたま新都心のエッグスンシングスというハワイの卵料理の専門店へ行きました。人気のお店でこの日も 1 時間待ち！やっと店内にはいると美味しそうな料理やスイーツのいい香りが漂っていました。足立さんはブルーベリーのクレープ、金子さんはイチゴのクレープを注文し、更にトッピングでホイップクリームを付けると、別皿でホイップクリームの山盛りがきてみんなびっくり。金子さんはゆっくり味わって食べ、足立さんはあっというまの間食でした！またそれぞれの仲間たちが楽しめる外出を企画したいと思います。（関）

サンだいち

新しい年も早くも二月に入りました。寒い日が続き、雪で日程を変更する日も多く、サンだいちの仲間達も大変だったかなと思います。その雪で日程がずれてしまいましたが、成人を祝う会がありサンだいち班からは戸田さんを皆でお祝いすることが出来ました！成人を祝う会の準備ではサンだいち班で式次第と、戸田さんと石久保さんのおめでとうの看板を作ったのですが、サンだいち班やじゅうに班のたくさんの仲間達が絵を描いてくれたり、みんなでお祝いの準備をきちんとすることが出来ていました。とてもうれしい時間でした。戸田さん、石久保さん、おめでとうございます！（宮本ゆ）

めーべ

めーべ班恒例の豆まきは、節分前日の 2 月 2 日に行われました。昨夜の雪が残る肌寒い中でも、「鬼は～外！福は～内！」と、仲間・職員がそれぞれの役に扮して楽しく豆まきをしました！豆を撒かれ、退散するはずの鬼役が豆を食べたり！？豆を撒く役が、撒かずに食べたり！？と、いつものめーべ班の豆まきになりましたが、2018 年も皆が無病息災でありますようにと願っています。（小和田）

あおぞら

１２月のアート企画展でランプ３点が展示された林さん。２月には同じ企画のもと川越市の膳内アートギャラリー呼友館にて開催された「うふっ♡埼玉でまたまたこんなのみつけちゃった♪」展にてランプ１点が展示されました。班の話し合いで見学の予定がたてられなかったものの、その後、林さんの方から「川越は行くのか？」「川越行こう！」と気にする様子が見られたため、急きょ見学の予定をたてました。場所が遠いため時間がかかることもあり、見学へ行ける日は限られていましたが、行きたいか確認すると即答で行きたいと返答が返ってきました。見学当日も自分の作品をはじめ、様々な作品をみて楽しんでみていたとのこと、良い１日になったようで嬉しく思います。（志村）

きらっと

横山さんが季節を意識した選曲で BGM を作ってくれています。毎日の昼休みから流して、午後の仕事時間に聴きながら皆頑張っています。ペンを動かす手は止まらず、音楽に合わせて身体を動かしたり、リズムを取る仲間。口ずさむうちに熱唱している仲間・・それぞれの楽しみ方で聴いています。そんな私もお気に入りの曲があり、それが流れるとついつい歌ってしまいます。盛り上がりすぎて立ち上がり歌うのですが、仲間達は一緒に手拍子してくれて・・仕事の手をとめてしまうのはいかがなものか？（笑）我に返り恥ずかしくなります。でも、最近どこか冷ややかな目で見ているかも。

とにかく１日中仕事をしている仲間達。午前と午後の違った雰囲気がいいのかもしれないですね。　（山内）

青年隊

成人を祝う会がありました。

戸田さん石久保さんおめでとうございます。

とてもかっこよかったです。

（サンだいち　板橋）

オレンヂホーム

第一、第二ともに消防訓練を行いました。火災ベルを聞き必死の形相で避難したり、非常階段を使用して靴下のまま避難したりとみな真剣に取り組んでくれました。

普段はいないスタッフがいて仲間もなんとなく「今日訓練があるのかな」と察している様子はありましたが、それでもしっかりやってくれるのは素晴らしいことです。

何か良くないことが起こっても皆の力を信じられると思ったのと同時に、そのような事態を起こさずいつもどおりの健やかな暮らしを続けられる様に働いていきたいと思いました。

（熊木）

授産報告（2 月）

＜収入＞

種目	金額	摘要
ウエス	29,500	
織り	40,150	
絵画	275,563	
詩	0	
古本・古着	1,710	
粘土製品	2,000	
ステンドグラス	51,892	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	500	
牛乳パック	38,200	
その他	0	
給与の為、通帳からの繰入	0	
前月からの繰越	12,888	
合計	452,403	

＜支出＞

項目	金額	摘要
賃金	282,623	
賞与	0	
材料費	0	
経費	0	
その他	0	
通帳への繰入	169,780	
作品展準備金	0	
合計	452,403	

～今月の新作～

僕の全て

西川泰弘（きらっと）

３月　予定表

		施設	法人・後援会			施設	法人・後援会
1	木			16	金	半日、PM 職員会議	
2	金	半日、PM 職員会議		17	土	休み（帰送迎：1時間遅）	
3	土	クラブ		18	日		
4	日			19	月		
5	月			20	火		
6	火			21	水		
7	水		施設運営担当者会議	22	木		
8	木		常任理事会	23	金	半日、PM 職員会議	
9	金	半日、PM 職員会議		24	土	クラブ	評議員会
10	土	クラブ	理事会	25	日		
11	日			26	月	工房集運営会議	法人事務会議
12	月			27	火	家族会	
13	火			28	水		
14	水			29	木	打ち上げ	
15	木			30	金	休み	
				31	土	休み	

サンだいち
作品展

内部論議期間
3/30～4/3

施設長より

みぬま福祉会は入所施設の準備を進めています。それは、そこで暮らす仲間たちのためだけではありません。その地域にあるグループホーム（以下 GH）に住む仲間たちのためでもあります。国は仲間たちの暮らしをＧＨへの移行に力を入れていますが、「終の棲家」として考えた場合に不安があります。

職員配置基準はあるものの、看護師や調理師など暮らしを支える専門的な職員配置は一部加算であるだけで、「生活支援員」とか「世話人」という名称の職員がすべてをおこなっています。しかも、運営費も充分ではないため、パート職員や大学生アルバイトに多くの部分を依拠しています。「少人数で家庭的な暮らし」という文言は、とてもいいと思いますが、現場はその現実とのギャップに悩まされ続けています。GH に暮らすみんながいつも元気で過ごしていれば何とかなりますが、風邪もひけば、年も重ねます。その当たり前の事をしっかりと支えていく体制の充実が大きな課題です。

もし、その課題がクリアしたとしても、GH のそばに入所施設のスケールメリットがあれば、緊急時の対応をはじめとする多くの部分での協力体制はとても心強く安心できます。今後もたくさん必要になるであろう GH のためにもその基幹となるような入所施設をぜひ実現させたいと強く思っています。

（オレンヂホーム：野崎）

～後援会からのお知らせ～

＜障害者問題研究会を読む会＞

（全障研主催・みぬま福祉会後援会協力）

日時：3 月 22 日（木）

場所：交流センター研修室２　10：30～

お話：新藤こずえさん(立正大学)

４５巻３号特集「高齢期の障害者家族と生活の諸問題」をテキストに、お茶を飲みながら高齢期の親の悩みや願いをみんなで話しましょう！！

【日程】

・三役会	３／６	川口太陽の家	１０：３０～
・役員会	３／１５	交流センター	１０：３０～
・学習運動	２／２１	川口太陽の家	１３：００～
・広報部（発送）	３／２８	川口太陽の家	１０：３０～
・事業部	３／６	川口太陽の家	１０：３０～
・コンサート	３／７	川口太陽の家	１０：３０～
・カフェ	２／２０	川口太陽の家	１０：３０～

＜インフォメーション＞

・「KOBO-SYU がスゴイわけ」展

会場：にしびりかの美術館（宮城県黒川郡）

会期：12 月 11 日～3 月 26 日 11:00～17:30

出展作家：渡辺孝雄、渡邉あや、野田夢友、小森谷章、横山涼、野本竜士、鶴岡一義、大内健太、金子慎也、伊藤裕

・「ビオクラシー～“途方もない今”の少し先へ」展

会場：はじまりの美術館（福島県耶麻郡猪苗代町）

会期：2 月 24 日～3 月 25 日 10:00～18:00 火曜休

出展作家：宮川佑理子

・繰り返しの極意（課題）

会場：もうひとつの美術館（栃木県那須郡那珂川町）

会期：3 月 20 日～6 月 10 日 10:00～17:00 月曜休

出展作家：柴田鋭一、齋藤裕一、宮川佑理子、野田夢友、杉浦篤、大内健太、金森啓太、成宮咲来、鶴岡一義、野口敏久

・ここから２　障害・感覚・共生を考える

会場：国立新美術館　企画展示室２Ｆ

会期：3 月 17 日～3 月 25 日 10:00~18:00 火曜休

出展作家：宮川佑理子、杉浦篤

※その他、詳しい情報は工房集ＨＰをご覧ください！

色鉛筆(^・^)／

先日、千代田区にあるアーツ千代田 3331 のポコラート全国公募受賞者展とアーティストトークに行ってきました。以前勤めていた法人が運営する福山六方学園の上之昌道さんが受賞し、本人もトークに参加すると聞いたので、会えるのがとても楽しみでした。上之さんの作品は木材や廃材をドリルなどを使って組み合わせたもので、作品には終わりがなく、新しい作品を作る際には前に作った作品からパーツを取って使ったり、どんどん形を変えていきます。

アーティストトークでは受賞作品を勢いよく加工して、参加者を驚かせていました。就職の面接のために初めてその施設に行った時、廊下にいた上之さんが、「今度作品展をするので見に来てくださいね！」とキラキラした目で話しかけてくれたことを鮮明に覚えています。作品を作ることや展覧会で発表することの楽しさを思い出させてくれた人です。（めーべ：中村り）

この冬，48 年ぶりの寒波が来ました。うちのベランダでも-3℃の朝が数日続きました。この記録的な寒さの少し前，良いタイミングで手炙り火鉢を使い始めました。これは知人から頂き物。底には知人のお爺様のお名前と昭和 5 年の年号が書かれています。物置の解体の時に出た不要品とのことでした。私がこの先大事に使えば、100 年の歴史ある道具になります。マンションの室内で火を使うには抵抗があったので，しばらく観葉植物の鉢を入れ楽しんでいました。しかし，秋もだんだんと深まると、この手炙り火鉢を正しく使ってみたくなりました。室内で火を安全に使うために，ネットで道具をいくつかと灰と木炭を注文しました。木炭も種類によってキンキンと金属のような美しい音がします。「わ！うちはにほんむかしばなしか？！」と息子も興味津々。今日，電化が進み風呂や台所でも火を見ることが少なくなりました。簡単便利で安全な生活からちょっと外れます。火鉢では部屋全体を効率よく暖められませんが，手をかざすとじーんわり。それは優しい温かさです。炭がぱちっとはぜたり，お湯がぽこぽこと泡をゆらしたり，ゆっくりした時間に寄り添ってくれます。そして熱かった陶器の肌が次第に冷めていく。ちょっと乾いた月桂樹の葉をくべたりするととてもいい香りが立ち込めます。非電化生活。ごく一部でよいのでやってみたかった暮らし方です。なんかいい感じです。感謝です。（サンだいち：森田）

<おひさま編集委員>黒田、大川、小嶋、津畑、鳥原、熊木、宮本ゆ